

## 令和 5 年 度 学 校 総 合 評 価

### 6 今年度の重点目標に対する総合評価

生徒一人一人の実態を把握し、「わかる授業」の充実、成功体験を積み重ね「自己有用感」を育む活動の充実が、本校の学校計画の根幹である。それを踏まえて、教務部・福祉教養科による学習活動、保健厚生部による学校生活の充実、進路指導部による進路支援、特活部による特別活動の充実の5点を重点課題に絞り、評価を受けた。

重点課題①：生徒の実態に即した適切な受講登録とわかる授業の確立

重点課題②：家庭・福祉に対する興味・関心の向上と基本的知識・技術の習得、  
及び思いやりの心の育成

重点課題③：委員会活動の活性化による生徒の環境整備・健康意識の向上

重点課題④：生徒が主体的にキャリア教育のステップアップを目指し、目標に向かって  
実践できる進路指導（支援）体制の構築

重点課題⑤：豊かな人間関係を構築する能力とコミュニケーション能力の育成

重点課題の評価は、①がA（達成）、②の2項目がB（ほぼ達成）とA（達成）、他の③、④、⑤がB（ほぼ達成）であった。取り組んだことに対して、高い評価をいただくとともに、いくつかの課題も指摘され指導・助言をいただいた。

- ① 今後も年次や担任が中心となり、丁寧な関わりや指導により出席率を上げてほしい。
- ② 現在は、コロナの影響で生徒と福祉施設利用者との直接交流ができないが、タブレットを活用してオンラインでの交流活動を是非検討してほしい。
- ③ 今後も生徒主体の委員会活動を推進し、全校生徒の環境整備・健康意識を高めつつ、生徒の主体性や達成感を育んでほしい。
- ④ 今後も生徒一人一人の実態を考慮しながら、生徒自身が納得できる進路選択ができるよう支援を続けて欲しい。
- ⑤ 不登校を経験していたり、特別な配慮が必要だったりする生徒が多く在籍する中、様々な体験を通して生きる力を身につけられるような活動を増やして欲しい。

### 7 次年度へ向けての課題と方策

生徒の実態をさらに正しく把握し、これまで以上に授業改善に対する意識改革へ繋げる校内研修を進める。一人ひとりに応じたきめ細かい進路支援を推進するために、さらに強固なチームとしての指導体制の構築に取り組んでいく。特別活動では、生徒の主体的な活動を促しながら、適切な生徒への助言、集団の中で互いの個性を認め合える雰囲気作りを支援するなど、新たな工夫に取り組んでいく。